

URL <https://aomori.lin.gr.jp>

# 畜産協会だより

Vol.48

発行  
一般社団法人 青森県畜産協会

## 令和6年度定時総会



来賓祝辞（青森県 田中畜産課長）



小山田会長



白戸議長



総会の様子

令和6年6月20日、一般社団法人青森県畜産協会の第21回定時総会が、多くの会員や来賓の皆様の御出席をいただいた中で開催されました。

総会の開催に当たり、小山田会長から、「国内では、配合飼料をはじめとする生産資材価格がかつてないほど高騰しており、畜産協会では、県が予算措置した配合飼料価格高騰緊急対策の実施窓口として事務を進めている。また、引き続き、肉用子牛価格の補填金制度の円滑な運営をはじめ、畜産経営の収益性向上に向けた事業の実施、更には、家畜伝染性疾患のまん延防止などに的確に取り組む。」との挨拶がありました。

来賓として、青森県の田中畜産課長から御祝辞をいただいたあと、議長が選出され、議事に入りました。

その結果、提出された

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び計算書類の承認について
- 第2号議案 令和6年度会費及び賛助会員の額並びに徴収方法について
- 第3号議案 令和6年度事業計画書及び収支計算書の報告について
- 第4号議案 令和6年度役員報酬について

は、全て原案どおり承認、決定されました。

また、当協会は、創立から50周年、各関係団体が統合し現在の名称になってから20周年の節目を迎えることができました。会員をはじめ、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



## ミルクウィーク in 水沢

令和6年3月17日（日）、水沢競馬場において、畜産振興の観点から生乳の消費拡大と競馬ファンの拡大に向け、東北全県によるミルクウィークを開催しました。入場ゲート前には500名程の競馬ファンが並び、宮城県、山形県の協会とともに「青森県産萩原牛乳・生乳100%あおい森のヨーグルト」を来場者300名に配布しました。当協会の配布物は好評で、交換を希望される参加者が多く、他県の協会の方々からも欲しいとの声があがり、好評のうちに終了しました。



## 八戸馬市場



令和6年7月2日（火）、南部町の八戸家畜市場において、サラブレッド1歳馬のセリが開催されました。当協会では毎年畜産フェアを開催し、購買登録者を対象に県産畜産物の配布を行っており、今年は「東北ファーム（三沢市）のこだわりたまごのドーナツ」を配布しました。来場者からは「毎年楽しみにしているよ！お土産に買って帰るね！」とのお声をいただき、県産品PRのいい機会になっていることを実感しました。

今年の最高値は、上場番号25番の「ショウリダバンザイ2023」（牡：父タワーオブロンドン）が1,045万円（税込）となりました。母のショウリダバンザイは地方重賞の勝利馬であり、昨年の全姉に引き続き、2年連続最高値で取り引きされました。

## 畜産フェア

令和6年6月16日(日)岩手県水沢競馬場で地方競馬の普及啓発と県畜産物の消費拡大を図ることを目的に、畜産フェアを開催しました。

青森県・岩手県・秋田県・山形県・宮城県各県の畜産物を、あわせて1,100名分来場者へ無料配布しました。

当日は天気が良く気温も高い中、開門前に長蛇の列となり予定時間より早い開門となりました。開門直後には畜産フェアのブースがたくさん来場者で賑わいました。青森県は「東北ファームのこだわりたまごのカステラ」を配布し、家族連れ等に好評で来場者は各県の配布物をワクワクしながら手に取り喜んでいました。



## outdoorフェス(弘前市)



令和6年5月25日(土)弘前市弥生いこいの広場で、消費者等の酪農への理解を深めるため、母牛の搾乳体験や子牛2頭とのふれあいの催しを行いました。

来場者は入口で手洗いと靴や手指の消毒を行った後、搾乳体験を行いました。当日は親子連れが多く、子どもたちは大きい牛に始めは怖がっていましたが、慣れてくると搾乳体験を楽しんでいる様子が伺えました。



また、別ブースで行われていたバター作り体験では、親子でペットボトルにミルクと生クリームを入れて振り、出来上がったバターに塩をかけて試食をしていました。親子で体験できるブースとあって搾乳体験と同様に賑わっていました。

搾乳体験を楽しみにしてきたという方もおり、体験活動を通して酪農に対する興味を持っていただく良い機会となりました。

## モーモー母ちゃん

令和6年3月13日(水)八戸プラザホテルで第18回モーモー母ちゃんの集いを開催しました。

講師として十和田市の沢目禎子さん(繁殖農家)をお招きし、畜産業に携わることになった経緯や、これまで参加した大会について講演いただきました。質問が多く有意義な意見交換の場となりました。エランコジャパンによる初乳についてのランチセミナー、ハーブティーの飲み比べ、レジキョーホルダー製作ブースなど盛りだくさんの内容で良い交流の機会となりました。



## 畜産堆肥展示会

令和6年6月13日（木）～15日（土）、十和田市の「道の駅とわだ」で株式会社くくボタ主催の農業機械展示即売会が開催され、合同で畜産堆肥展示会を開催しました。

イベントの中で、株式会社くくボタの植田祐介顧問が畜産堆肥の使い方についてセミナーを行ったことで、畜産堆肥ブースに興味を持つ方が多く見られました。

展示会以外にも、畜産協会ではホームページでも県内の畜産堆肥を紹介しています。

畜産堆肥を利用してみたい、また、自社の畜産堆肥を展示したい方がありましたら、お気軽に畜産協会までお問合せください。



## 令和6年度家畜衛生表彰者

### 【津軽地区】吉田 信次 さん

同氏は、青森県農業共済組合の家畜診療センターに26年間勤務し、その後、畜産協会の指定獣医師として主に西北五地域の家畜診療に携わるとともに、予防注射事業や自衛防疫業務の推進の取組など、生産者に寄り添った獣医療の提供に尽力いただいております。

さらに、津軽地区家畜衛生推進協議会の事務局長を14年間務め、地区における畜産農家の経営安定に貢献され、生産者から厚い信頼を得られているとともに、地域畜産の持続的な発展に不可欠な存在となっております。



### 【むつ地区】真手 敬一 さん

同氏は、昭和55年4月に東通村畜産課に勤務し、長年東通村の畜産振興に尽力され、一般社団法人東通村産業振興公社では、専務理事として「東通牛」の産地確立に向けた地域内一貫経営の取組に寄与し、現在も産業振興公社の職員として、下北地域の肉用牛振興の中心的な役割を果たされています。

さらに、一般社団法人東通村産業振興公社農場が令和2年12月に、農場HACCP認証農場として指定された際には、そのリーダーとなり、「安全・安心」を消費者に届ける取組を積極的に推進されました。

また、飼養衛生管理基準の遵守をはじめ、疾病の発生予防のための予防注射や消毒など、家畜衛生対策の地域での推進にも貢献されています。



## 各種制度交付金単価

### 1. 肉用子牛生産者補給金制度

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		564,000円	514,000円	328,000円	164,000円	274,000円
合理化目標価格		444,000円	404,000円	258,000円	110,000円	216,000円
令和6年度 第1四半期 (4月～6月)	平均売買価格	541,400円	606,100円	—	177,500円	318,500円
	交付単価	22,600円	—	—	—	—
	交付額	9月予定	—	—	—	—

### 2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン)

対象区分	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
令和5年11月期 (1月交付)	6,571.6円	6,400.6円	—	
令和5年12月期 (2月交付)	26,163.0円	—	—	
令和6年1月期 (3月交付)	58,690.8円	—	15,795.9円	
令和6年2月期 (4月交付)	68,963.4円	—	18,615.6円	
令和6年3月期 (5月交付)	93,567.6円	—	35,480.7円	
令和6年4月期 (6月交付)	46,917.9円	—	19,021.5円	
令和6年5月期 (7月交付)	82,253.7円	—	34,847.1円	
令和6年6月期 (8月交付)	115,868.7円	23,265.9円	41,036.3円	

## 青森県家畜市場成績 (七戸)

### 子牛 市場成績表

【開催日 6年8月9日】

#### 1. 販売価格 税込み【子牛】

品種	性	今回分						前回分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種 【小計】	雄											
	去	267	924,000	179,300	571,926	304	332	1,722	334	541,315	1,605	117
	雌	207	1,340,900	148,500	398,455	308	301	1,322	245	414,696	1,354	-32
	主	474	1,340,900	148,500	496,170	306	319	1,557	579	487,737	1,505	52
	主	16	539,000	1,100	361,213	314	284	1,270	20	432,795	1,366	-96

・黒毛和種の取引頭数は474頭で、前回より去勢66頭減、雌38頭減、全体で104頭減となった。  
 ・黒毛和種の平均価格は496千円で、前回より去勢30千円高、雌17千円安、全体で8千円高となった。

#### 2. 主な種雄牛別の販売価格 税込み【子牛】

名号	去勢					雌					合計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
福之鶴	32	634,288	335	1,896	297	24	378,538	296	1,280	306	56	524,680	1,650	301	11.8
福之姫	32	700,631	347	2,019	297	25	446,556	328	1,362	316	57	589,195	1,740	305	12.0
寿優福	19	467,674	321	1,456	315	7	340,057	280	1,215	313	26	433,315	1,397	314	5.5
茂晴花	19	594,058	331	1,792	302	9	357,011	294	1,214	303	28	517,864	1,621	302	5.9
貴隼桜	15	547,507	334	1,637	304	13	367,400	306	1,201	303	28	463,886	1,444	304	5.9
総合計	267	571,926	332	1,722	304	207	398,455	301	1,322	308	474	496,170	1,557	306	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は、「福之鶴」で11.8%、次いで「福之姫」12.0%となった。  
 ・福之鶴の平均価格は524千円で、前回に比べ5千円安となった。単価は1,650円で前回より63円高となった。

## 青森県配合飼料価格高騰緊急対策事業

畜産の生産経費のうち多くの部分を占める配合飼料費の高騰が長期間にわたり続く中で、県内畜産農家の経営は圧迫されており、青森県では、経営の安定・維持を目的とした青森県配合飼料価格高騰緊急対策事業が実施されることになりました。

この事業は、一定の条件を満たす畜産経営が購入した配合飼料費の一部を助成する内容となっており、畜産協会は、畜産経営へ助成金を交付する県域の窓口となって、現在各種手続きを進めています。

### 事業の内容

- 1 助成対象者  
令和5年度に配合飼料価格安定制度に加入し、県内で家畜を飼養している畜産経営体  
(令和6年度以降も経営を継続する意思のあるもの)
- 2 助成の対象経費  
対象者が令和5年10月1日から令和6年3月31日までの間に購入した配合飼料(青森県内に所在する農場において使用するもの)の購入費
- 3 助成金の額  
対象となる配合飼料の数量×3,000円(1トンあたり)

畜産協会では、畜産経営が所属する関係団体の御協力をいただきながら、順次事務を進めているところで、引き続き御理解をお願いいたします。



## 地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は、地方競馬全国協会までご連絡ください。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト/馬主申請Q&Aでご覧になれます。

<https://www.keiba.go.jp/>



### 一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822  
青森県青森市中央二丁目1番15号  
(畜連ビル)

総務課 TEL(017)723-2523(代)  
経営支援課 TEL(017)723-2775  
TEL(017)718-3809  
家畜衛生課 TEL(017)722-4331

F A X (017)731-1196  
U R L <https://aomori.lin.gr.jp>  
E-mail [info@aomori.lin.gr.jp](mailto:info@aomori.lin.gr.jp)



青森中央大橋

### MAP

